

「道東・てしかがの冬を遊びつくそう！」を開催

エコツーリズム推進部会

てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会(藤原仁部会長)では、ダイヤモンドダストin KAWAYU ~「道東・てしかがの冬を遊びつくそう！」と題して2月17日にイベントを実施しました。人財育成部会や食・文化部、チームくっしょりと連携し、訪れた観光客をおもてなしするために、子どもたちとのイグルー作りや地場産野菜を使ったスープを販売しました。



地元の小学生らによるイグルー作り

昼の部では地元の小学生や保育園児19人が大人と協力してイグルー作りを行いました。踏み固めた雪をスノーソーと呼ばれるノコギリで切り出し、それを積み上げて、水分を含んだ雪で接着。大小2つのイグルーを完成させ、イグルーの中で、お昼ご飯を食べました。

夜の部では雪の降る中、アカエゾマツの森でナイトスノーシューハイクを行いました。外国人観光客の参加もあり、普段歩けない夜の森の中の雰囲気を楽しみました。また、川湯エコミュージアムセンター館内では、地元のガイドによるスライドショーやチームくっしょりによるアイヌ文化体験などが行われ、参加者それぞれが思い出となる体験をしました。

問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

弟子屈町インバウンド推進事業対策補助金

外国人観光客受け入れ対策の経費の一部を補助

町では、訪日外国人観光客受け入れ体制の充実を図るため、町内事業者の方が行う外国人観光客受け入れ対策に係る経費の一部を補助しています。受け入れ対策をお考えの方は、ぜひご相談ください。

▶ 補助対象経費

- 訪日外国人観光客誘致に必要な、次に掲げる経費
- ① 外国語(英語・韓国語・中国語)表記による施設のパンフレット類・ホームページ作成に要する経費
- ② 外国語表記による施設内の情報案内板などの整備に要する経費
- ③ 生活習慣の相違に対応するために必要な資材の整備に要する経費
- ④ 外国人観光客誘致の促進に要する経費

▶ 補助の種類と補助率

直接補助で補助対象経費の2分の1以内で(上限10万円)

▶ 補助対象者

町内に事業所を有する法人、町内に住所を有する個人事業主のうち、町税を滞納していない観光関連事業者で、平成29年度において、本補助金を利用していない事業者
※平成31年3月29日(金)までに補助対象事業の完了と実績報告ができることが必要です。

▶ 受付期間

4月2日(月)から随時受け付けします。先着順で、予算がなくなり次第、受け付けを終了します。

▶ 応募方法

補助金等交付申請書と事業執行に係る契約内容、事業内容の分かる書類などが必要になります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先/役場観光商工課商工振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

協力隊通信 特別号



日々の活動
発信中!



地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)

<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshikyouryokutai>

弟子屈町地域おこし協力隊 それぞれの活動へ



炭田 晃希
南弟子屈
地域づくり活動支援員
平成27年6月~
平成30年3月

地域おこし協力隊第1号!さらなる地域活性化を目指す
弟子屈町民になって2年10カ月が経ちました。南弟子屈地域だけではなく町内たくさんの方から応援いただき、とても快適に活動できました。ありがたうございました。成し遂げられなかったことでもあります。ここで一区切りとなつてしまいましたが、これからも弟子屈町民として暮らしていきますので、見かけたら気軽に声をかけてください!よろしくお願ひします。



高木 浩史
弟子屈町産
ブドウ・ブドウ酒等
開発活動支援員
平成27年9月~
平成30年3月

ワインのまち弟子屈を目標に ワイナリー開設の準備へ

弟子屈町地域おこし協力隊として、約2年半お世話になりました。弟子屈町ワインの地域への定着化を図る活動を主



小林 由紀子
観光振興活動支援員
平成27年10月~
平成30年3月

暮らす人も訪れる人も楽しい まちづくりに取り組みたい

2年余り、役場の観光商工課で仕事をさせていただきました。「観光立国」「インバウンド誘致」「日本版DMO」と日本中で騒がれています。一番大切なのは、これらの言葉に踊らされることなく、地元弟子屈の将来をどうしたいのか?を住民が自発的に考え、力を合わせることでないでしょうか?「弟子屈に世界中の旅行者が集まり、住民と旅行者と一緒に楽しい時間を過ごせるようにしたい」という夢に向かって、これからもこの地で生きていきたいと思ひます。右も左も分からなかった私を温かく受け入れて下さった(と信じている)職場の仲間、近所の方々、さまざまな場面で出会った地域の皆さんに感謝しております。ありがとうございました。



鈴木 禎洋
南弟子屈
地域づくり活動支援員
平成27年10月~
平成30年3月

宿の提供や狩猟免許の取得 これからも弟子屈のために

平成27年の10月に弟子屈に来てから、あっという間の2年半が経ちました。学生時代にバイクで訪れたこの町に現在暮らしているのは、今でも不思議な気持ちです。
任期中は「宿」を「鹿撃ち」をやりたい。でも何にもわからない中、みんなが何の文句も言わず力を貸してくれた、宿の開業と猟師になるという当初の目標を一年足らずで達成することができました。特に南弟子屈の皆さんは仕事以外でもたくさん遊びに誘ってもらい、愛知県に住んでいた一生涯することがないような体験の連続でした。
私は引き続き南弟子屈に住んで、外から来てくれるたくさんの方に弟子屈を紹介し続けていきます。

町地域おこし協力隊が着任してから、はじめての任期終了を迎えました。3月18日には、活動報告会も行われ、これまでの成果や今後の活動について報告されました。
今後、それぞれの活動に対し、皆さんの応援をお願いします。
報告会の様子は、5月号に掲載予定です。ぜひご覧ください。